

会社名 ピープル株式会社

上場取引所 東 スタンダード

コード番号 7865

(https://www.people-kk.co.jp/)

代表者 取締役兼代表執行役 桐淵真人

問い合わせ先: 執行役 飛田留美子 TEL:03-3862-2768

◆売上高(単月) 前年対比

(金額単位:千円)

2月度(単月)	前期:2025年1月期	当期:2026年1月期	前年同月比
乳児・知育・構成玩具カテゴリ	56,098	49,968	89.1%
メイキングトイカテゴリ	1,848	1,481	80.1%
その他(遊具・乗り物・育児等)	9,983	4,439	44.5%
海外販売・ロイヤリティ収入	16,254	12,885	79.3%
合計	84,183	68,773	81.7%

◆2月度発売新商品・リニューアル商品

当月は新商品およびリニューアル商品の発売はありません。

◆2月度および直近TOPICS

●国内の消費環境は食品を始めとした物価高を背景に消費意欲が下がり、ひいては家計関連の指数も低調であることから、玩具市場の動きも弱く消費の下降が続いております。このような環境下でも、当社では市場平均の昨年対比を上回って売上を維持している商品が数種あることと、さらに4月発売予定の新商品にしっかり注文が集まっていることから、巻き返しを図る流通からの当社への期待感を感じております。

●直近のメディア掲載情報

・2025/2/25【プレスリリース】ピタゴラスが『絵本ナビ 子育てベストアイテム大賞 2025』大賞受賞！

絵本や児童書の情報サイトである絵本ナビのユーザー投票により、子どもの成長や幸せな時間につながるアイテムとして選定されました。

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000215.000045493.html>

・2025/3/13【新聞掲載】北海道新聞にて当社代表者(桐淵真人)のインタビューが掲載されました。(有料記事)

看板商品の生産をあえて終了する大胆な事業戦略について、学生時代を過ごした函館での経験なども交えて語っております。

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/1130855/>



■ 第2回「投資家向け会社説明会」の動画を配信しております。現在取り組んでおります成長戦略につきまして、代表者よりご説明する内容です。当社ホームページのIR情報 <https://www.people-kk.co.jp/investorrelations/> に説明会動画を掲載しておりますので、ぜひご視聴ください。

当該紙面資料、「第2回投資家向け会社説明資料 パーパス経営の実践とロードマップ」(PDF)も公開しております。

昨年および昨年度、事業終了など抜本的な改革により収益改善を図りました。事業終了により確保したリソースを新事業開発チームに最も多く割り当てつつ、新事業をスムーズに、スピーディに創出する新たな仕組みづくりを、中期的な視点に立ち実施しています。直近ではパーパスのキーワード「子どもの好奇心」を軸に8つの新事業チームが進行しており、その「好奇心事業」第一弾のローンチを2025年春(2026年1月期)に計画しております。

一方、このローンチに向けて、当社の取り組みを広く認知していただくことが、商品ブランド育成に重要と考え、広報活動を積極的に行っております。

また、2022年より活動を開始した当社「ピープル赤ちゃん研究所」は当社のコアコンピタンスである「赤ちゃん観察視点」を社内外に伝えることを目的とした活動を展開しており、母親、父親向け「赤ちゃんをあげわうワークショップ」を主活動とし、地方自治体や教育機関とのコラボレーションも実施しております。

これら中期を見据えた施策を行いつつ、短期的な収益性改善策として、以下のような活動を継続的に行っております。

①既存ロングセラー商品のリブランディングによる、販売数の底上げ

・シリーズ内の新商品の発売キャンペーン

・周年イベントの開催(2026年1月期: やりたい放題40周年、ピタゴラス33周年、お米のおもちゃ15周年)

②PR、IR活動にリソースを割き、情報発信力を強化

当社の活動状況は、随時当社発信のnoteでもお伝えしております。 https://note.com/people_pr

(ご参考)業績予想(2025年3月3日公表)

2026年1月期第1四半期(2025年1月21日～2025年4月20日)業績予想

	2026年1月期第1四半期 業績予想 (百万円)	前年同期間比(%)
売上高	286	75.1
営業利益	△97	—
経常利益	△97	—
当期純利益	△97	—